

CS だより

第4号 令和5年3月

浜松市立積志中学校
CS コーディネーター
岡本 知之
CS ディレクター
北寒寺 知子

【第4回学校運営協議会が開催されました】

今年度最後となる第4回の学校運営協議会が2月27日に開催されました。その中では、今年度の教育活動や学校運営に対する学校の自己評価の結果について評価を行ったり、学校運営協議会の取組に対する自己評価を行ったりしました。さらに、校長の掲げる来年度の学校運営の基本方針や、学校運営協議会の具体的な取組の方向性などについての意見交換も行いました。

会議録については、積志中学校のホームページで公開しています。

【積志中コミュニティ・スクールの取組について】

積志中学校は、今年度からコミュニティ・スクールの取組をスタートさせました。そこで、初年度は学校や地域の実態把握と今後の活動の方向性を定めることを目標として設定し、取り組んできました。

今年度の取組の一番大きなものは、昨年11月に開催した「積志中の未来を考える会」です。今回の協議会では、そこで出された意見を基にしながら、学校運営協議会としてできることは何かについての話し合いを行いました。その結果、来年度以降、積志中コミュニティ・スクールの取組として、まずは以下の4つの支援の具体化を目指していくという方向に決まりました。



① 学習支援

- ・夏休み、冬休みなどの長期休業を利用して、中学生を対象とした勉強会を開催する。
- ・地域の方や高校生、大学生を対象に学習支援ボランティアの募集をする。

② 部活動支援

- ・部活動の指導ができる方を募集し、地域として部活動の支援ができるような体制づくりを目指していく。

③ 学校行事への支援

- ・体育大会のソーラン節で使用する法被を確保するために、地域に法被の寄贈依頼をする。

④ 地域のボランティア活動の活性化

- ・協働センターと連携し、地域で実施しているボランティアの案内を届けてもらう。
- ・地域の活動に中学生が積極的に参加できるような手立てを考えていく。

来年度以降、支援の具体化に向けて、話し合いを重ね、着実に前進していきたいと思っております。また、上記の取組以外にも、学校運営協議会として学校の教育活動がさらに充実したものとなるような取組を考え、前向きに進めていきます。